

タイ・チェンマイの学校と教育に関する連携協定を締結 10月7日に現地教職員4名を招いたエクスチェンジプログラムがスタート

北海道で保育園・幼稚園・認定こども園を運営する浅利教育学園グループ(北海道札幌市 理事長：浅利健自)は、Tonkla School (トンクラスクール/タイ チェンマイ/ Founder and President : Boonanake Maneetham) と教育に関する連携協定を締結しました。

8月28日(水)には、Tonkla Schoolにて合意書締結セレモニーが行われ、浅利教育学園グループから5名の職員がタイを訪れました。

この連携協定により、教職員や関係者のエクスチェンジプログラムや、共同研究事業、教育ビジネスに関連することを実施していきます。

10月7日(月)、10月8日(火)にはエクスチェンジプログラムの一貫として、Tonkla Schoolの教職員4名が視察・研修に訪れ、札幌市内の園見学、職員間意見交流、保育参加(あそびのじかん・うんどうあそび・リトミックなど)、プログラミング体験等を行います。10月7日(月)には北郷あゆみ幼稚園(札幌市白石区北郷3条3丁目8-15)にて、4・5歳児がウェルカムセレモニーを行います。



Tonkla School と連携協定を締結した理由

Tonkla School のモットーは大人も子どもも「幸せ」であることです。幸せであることが一番大切で、“HAPPY KIDS LEARN BEST”という方針のもと子どもたちと関わっています。また、遊ぶことで子どもたちはいろいろなことを学び、成長していくというフィンランドの教育を取り入れており、子どもたちの能力をできる・できないで評価するのではなく、その過程やポジティブな視点から子どもたちと関わる教育に共感し、この度の締結に至りました。

この合意締結は、情報や知識、価値観の共有によって、両国の幼児教育の発展や教育者の育成にも繋がると考えています。研修を受けた教職員は、研修での学びを自園での教育に活かしていくことで、教育の質向上に繋がっていきます。また、タイより来園いただく教職員との積極的なコミュニケーションによって、それぞれが今までなかった価値観に出会うことで視野が広がり、経験豊かな教育者となっていくことを期待しています。

Tonkla School 視察の様子

8月28日・29日は、浅利教育学園グループから職員5名がTonkla School を視察し、現地の5歳児にデモクラスを行いました。クラスでは折り紙で手裏剣を作ったり、忍者のかぶりものをかぶって、みんな身体を動かしたりして遊びました。その後は教職員との意見交流会があり、当グループの子どもとの関わりについて話したり、デモクラスの感想を互いに述べ合ったりし、とても有意義な時間を過ごしました。



Tonkla School

教育方針：「幸せな子どもが1番よく学べる」

対象年齢：2歳～12歳（プレ～小学6年生）

在園児・在校生：648人（9/30 現在）

Tonkla Schoolは2009年に幼児教育や心理学、教育行政の専門家とともに「幸せは学びの始まり」という信念のもと創設した学校です。

幼稚部ではIntegrated English Program（英語：タイ語 5：5）とInternational Program（英語：タイ語 8：2）の2つのクラスがあり、International Programではフィンランドのカリキュラムを取り入れています。

公式 HP：<https://www.tonkla.ac.th/>

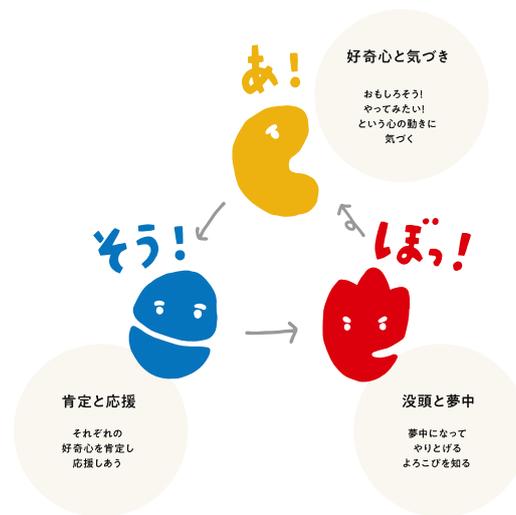


浅利教育学園グループ

当グループは、1969年に創設した学校法人北海道日本大学高等学校（現学校法人札幌日本大学学園）の附属幼稚園を母体としており、学校法人浅利教育学園・社会福祉法人明日萌・学校法人自由創造学園の3法人による連合体です。道央圏を中心に各自治体からの保育園民営化案件の受託や待機児童解消プログラムに基づく新設案件などにより2024年時点でグループで13カ所の認定こども園、幼稚園、保育園を統括しています（園児数約1100名 スタッフ数約300名）。

当グループでは教育方針「あ！そう！ぼっ！」に基づき、主体的で感性豊かな子どもの育成をビジョンとし、しなやかにたくましく「新しい生きる力」を備えた人間を社会に送り出すことをミッションとしています。

公式HP：<https://www.nissho-asumoe.com/>



— このリリースについての問い合わせ —

学校法人浅利教育学園

広報担当：丸山・森下

電話番号:011-876-6200

メール: r.maruyama@asari-asumoe.ed.jp